

科目分類	看護専門科目 応用看護	開講時期	4年	前期		
科目名	地域看護学実習Ⅱ					
選択/必修	選択	単位数(時間数)	1単位	45時間	授業形態	実習
担当教員	鈴木 隆史					
メールアドレス	t-suzuki@tsuruga-nu.ac.jp (鈴木)	オフィスアワー	授業の前後			

授業目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生の拠点である保健所の機能と役割について理解する。 2. 危機管理について理解する。 3. 保健所と市町の連携を学ぶ。
授業概要	<p>保健所の保健師と行動を共にし、人々の健康を守るための制度やシステムを理解する。</p> <p>国民衛生の動向をはじめとする主要な各種データがどのように収集されるのか見学する。また、食品監視や感染症サーベイランス等がどのようにされているのか見学し、国民の健康と関連させて考える。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前学習 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地区診断の学びを整理しておく。 2) 国民衛生の動向の他各種資料を用いて、保健所の役割・機能をまとめておく。 2. 実習内容 <ol style="list-style-type: none"> 1) 保健所(健康福祉センター)の概要や地域課題や事業計画等について説明を受ける。 2) 保健所で行われている公衆衛生活動に参画し、対象者や職員から聞き取りをする。 3) 保健所保健師が行う保健事業に参画し、専門的・広域的な保健サービスについて対象者や職員から聞き取りをする 4) 保健所で行われている健康危機管理について説明を受ける。 5) 広域圏の地域特性をまとめる。 6) 報告会にて実習での学びを共有する。
教材 参考文献等	授業に用いた教科書及び講義資料 適宜紹介する
成績評価 基準・方法	出席状況、実習内容、実習記録、実習態度などから総合的に評価する
履修要件	地域看護学実習Ⅰを履修していること。

留意事項 その他	本科目を履修していないと地域看護管理実習は履修できません。 臨地実習では五感をフルに活用して情報を収集すること。得た情報と学内での学習と関連させて学びを深めること。
実務経験のある 教員の教育方法	保健師としての保健所や政令指定都市での保健所・市町の連携の経験を活かして、保健所で行われる公衆衛生活動、保健師活動、健康危機管理について実習指導を行う。